

レイクアンドピース 2021
10月2日3日 大相模調整池周辺

越谷市住宅相談会 畔上担当
8月17日 越谷市役所

2019年からスタートした水辺の祭典「レイクアンドピース」が今年も開催予定です。昨年はコロナ禍により縮小開催となりましたが、今年はウイルスとの共存を前提に、いつでも誰もが楽しめる水辺を表現したいと思います。現在企画が進行中です！

畔上が所属している埼玉建築士会では越谷市が主催する住宅相談会を無料で行なっております。8月は畔上が担当となっておりますので、是非ご相談ください。
予約制となっておりますので、詳しくは市役所建築住宅課 048-963-9205 までお問い合わせください。

けやきな舞台袖



今年の春亡くなった義父の故郷「佐渡島」
今後は行く事が減るかなと思っていた矢先、大学時代の後輩からの依頼で急遽佐渡へ行くことに！
まさに巡り合わせとしか言いようがない縁に武者振るいしてしまいました。当日は梅雨中にも関わらず佐渡の空と海はスカイブルー！島内を一日ご案内

ただいた尾畑酒造の平島社長と尾畑留美子さんありがとうございました！これから何が？始まる予感がしています。

オリンピック開催の有無について世間は少しギクシャクしていますね。立場によってこれほど意見の分かれる内容も少ないかと思えます。そんな中でもプロ野球にハマっている息子にとっては関係ありません(笑) 選出された侍ジャパンのメンバーを見ながら、自分だったら誰を選んだ誰を外したとまるで稲葉監督気分です。そんな侍ジャパンがオリンピック前の練習試合に息子と行ってこようと思います！ガンバレ日本！どんな状況でも代表選手たちを応援しましょう～



改めまして、小関保波(こせきほなみ)です。今年で社会人としても、けやきスタッフとしても2年目を迎え、環境に慣れ始めつつ、お仕事はまだまだ職人さん方に助けていただきながら勉強中です。基本ははかり屋のサテライトオフィスを拠点に仕事をしています。自宅では3匹の猫に日々癒されて過ごしています。

昨年末に、旧日光街道で数年前から開催しているイベント「珈琲の日」で出会った主催者さん、越谷近辺で活動されている映像作家さん、シンガーソングライターの方々と珈琲の日のミュージックビデオを制作しました。映像には旧日光街道沿いを歩く場面も登場します。作品はYouTubeにアップされているので、「珈琲のあの日」で検索してみてくださいね。



高橋です！通っている芝浦工業大学では前期の授業も残すところわずかとなっています。課題も住境に入りとても忙しく、趣味に使う時間がなかなか取れません…。夏休みが待ち遠しいです！模型や製図は家に籠っての作業になるため、最近は毎日必ず散歩に行くように心がけています！健康にはもちろん、気分がリフレッシュして作業も捗るためおすすめです！大学では現在、オンラインと対面を自由に選択できる形で授業が進んでいます。課題の忙しさもあり、週に一度の設計の授業以外はほとんどの学生がオンラインでの受講を選択しています。僕もその一人ですが、少し勿体ないとも感じるため、後期の授業からは課題のペースをうまく調整して可能な限り登校したいです！



オンライン授業をする畔上先生

あとがき

6月は仕事をしながらの事務所の引っ越しでグッタリしました。いつもお客さまには余裕を持って準備してくださいね！なんて笑顔で言っておきながら、全く出来なかった自分が情けなくなりました。もうお客さまにも言うのは止める事にします(笑)
今号も最後までお読みいただきありがとうございました。



順声平語

[第15回] まちと接点としての建築



寂しい外壁に杉板を張ってます！

年度明けから新しいプロジェクトも始まり慌ただしい日々を送る中、あっという間に今年も半年が過ぎました。建築業界としては、梅雨時期は日が長く仕事が捗る一方、雨の日も多く、工程管理や日程調整をし難い時期でもあります。

そんな不確定要素が満載のこの時期に、事務所を引っ越しました(笑) ちょうどテナント更新の時期を迎える矢先、近所で資材置き場に使用しているスペースを拡大して使える情報が耳に入り、迷った末に完全移転を決意致しました。この忙しい時期に何を考えているんだと冷たい視線を浴びながらも、折角移転をするなら、移転先での店構えをどの様にしていくのかを検討をすることになりました。

そもそも5年前に旧事務所に移転をしたきっかけは、事務所とまちの接点をつくりたかったというのが大きな理由でした。クローズドだった事務所をまちに開きたい、開くことで地域の皆さんに認知していただける、接点が出来れば

役に立つきっかけが出来ると思っていたからです。この考え方は、自分の中には店舗などの施設に限らず、住宅でも出来る限り外へ開くプランを心掛けています。繋がり方には様々な段階がありますが、少しでも開く意識があることで、まちに関わっている、顔を向けているように見えます。歩いている人にとっても動きがあって楽しく、まちの賑わいにも繋がっていく大切な仕掛けになると思っています。今回引っ越しをした建物は空き家だった普通の住宅です。店舗スタイルでもなく、一階がガラス張りになっているわけでもなく、どちらかというと道路側に閉じた印象の建物です。これをどうやって開いた雰囲気にならうか、現在思案中です。旧事務所から置くようになった鉢植えグリーンも一緒に引っ越しました。目を引くグリーンと共に新しい場所でもまちとの接点になる場を提供し、楽しいまちなみをつくり出す仕掛けをつくりたいと思っています。外溝が完成した際には是非お立ち寄りください。どうぞお楽しみに！